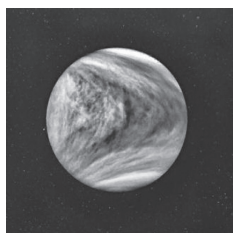
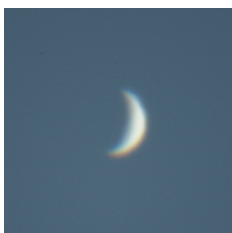


金星儀（その 1）



NASA/JPL

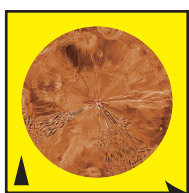
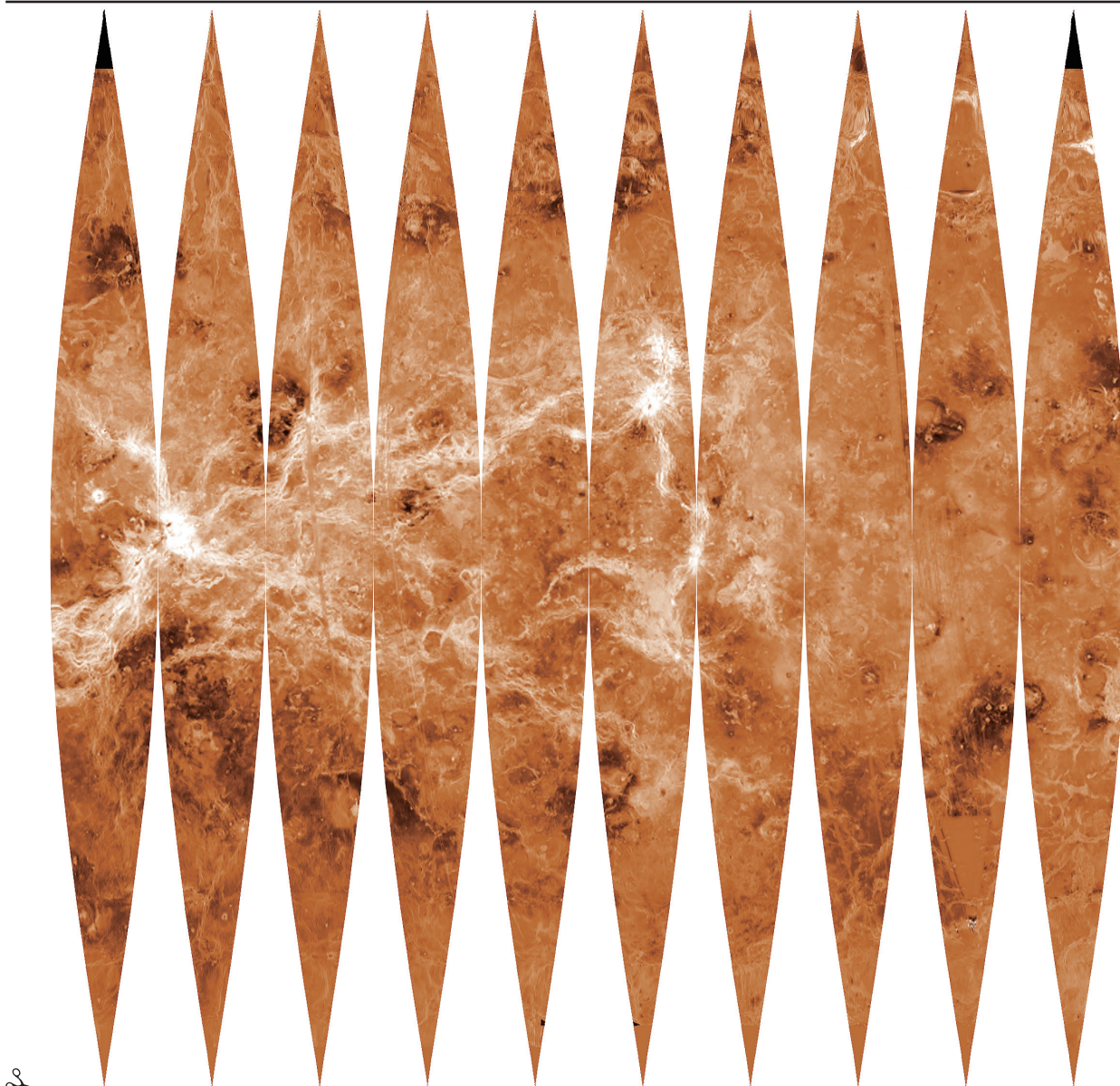


星の子館

金星は太陽から数えて 2 番目の惑星で、太陽の周りを約 7 か月かけてまわっています。直径は地球とほぼ同じで、地球のようなかたい岩石からできています。望遠鏡で見ると、月のように満ち欠けて見えます。

金星の表面は厚い雲におおわれているので、望遠鏡で見えることはできません。旧ソ連の探査機が着陸して調べると、気温は約 500 度、気圧は 90 気圧で、とても生物が住める場所ではありませんでした。

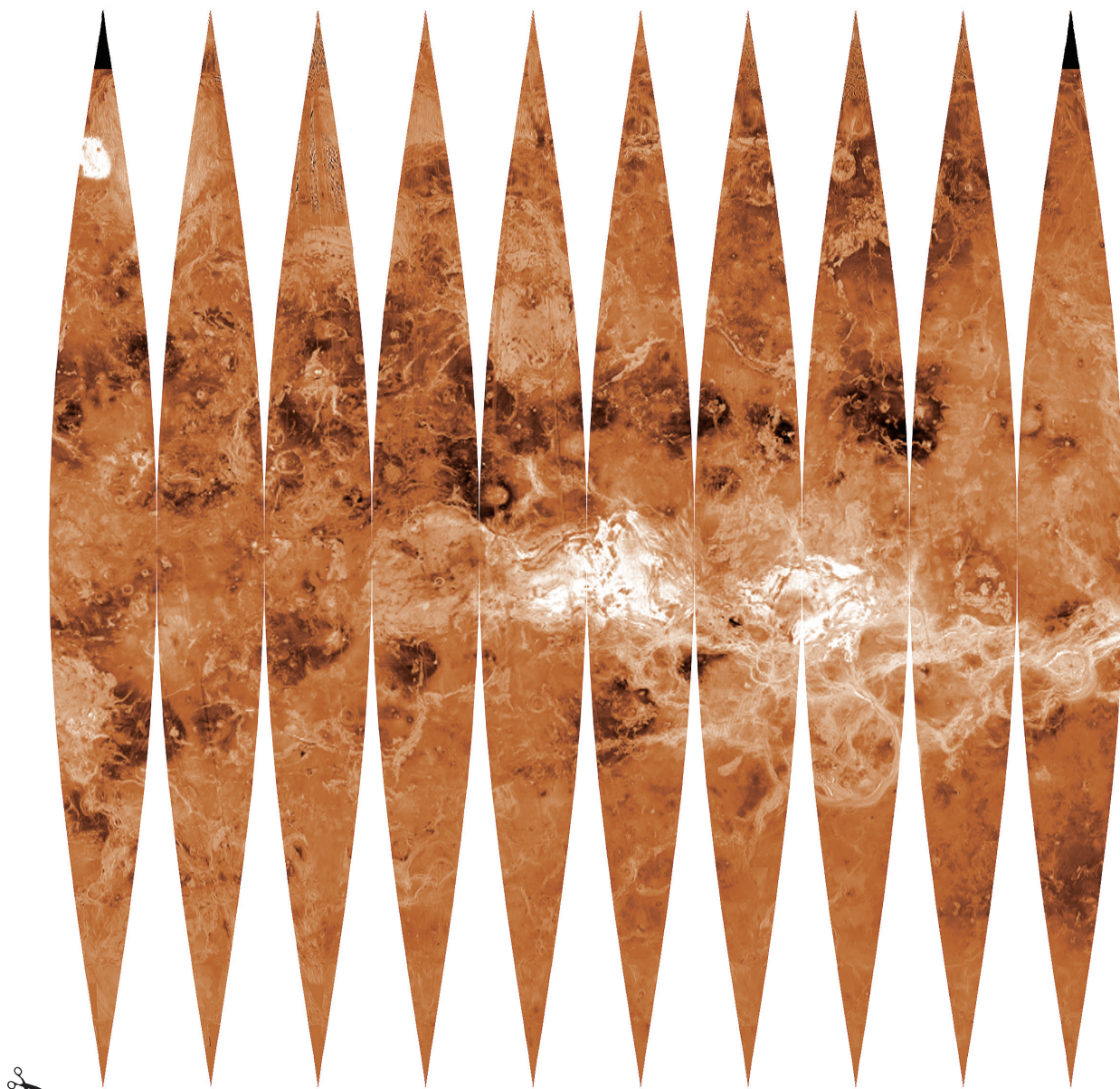
この金星儀は、探査機がレーダーで調べた金星のデコボコの様子に、表面の写真を元に色がつけられています。



北極と南極のパーツ（一番最後に使います）

四角く切り取った後、うらに両面テープをはってから中の部分を丸く切り取ります。

型紙を球にはり終わった後で、「みかんのヘタ」のように、型紙の▲印ともようを見ながら、それぞれはりつけてください。



のりしろ

惑星儀No.2【金星】

作成：姫路市宿泊型児童館『星の子館』

原図：金星探査機「マゼラン」と「バイオニアビーナス」のレーダー画像を着陸船「ベネラ」が撮影した金星表面の色で着色したもの
("Cylindrical Map of Venus - Magellan, Pioneer, & Venera" NASA/USGS/JPL)

★飾るための台

切り取ってのりをつけて、はり合わせてリングにします

